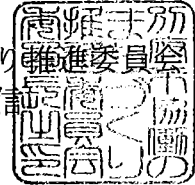


別協推委第6号

平成31年1月16日

別府市長 長野 恭紘 様

別府市協働のまちづくり推進委員会  
委員長 福谷 正信



平成29年度協働のまちづくりの推進に関する  
施策の実施状況評価結果について

別府市協働のまちづくり推進条例第10条第1項の規定に基づく施策の実施状況について、同条第2項の規定により、当委員会の評価をまとめましたので、下記のとおり報告します。

なお、今後の協働のまちづくりの推進に関する施策の執行にあたっては、下記の評価結果に配慮され、引き続き目的の実現に向け取り組まれるよう要望します。

記

1 啓発活動及び人材育成の推進について

新採用職員対象協働研修については、市が取り組む協働の方向性を認識する上で実施する意義はあるが、併せて、一定期間の実務経験を積んだ後の研修も実施し、協働意識の更なる向上を図っていただきたい。

また、人口減少・少子高齢化が進む中で多様なニーズにいかに対応するかという視点から、今後はNPOの育成支援にも努めていただきたい。

2 市民と市の相互理解の推進について

平成29年度は『市長と未来を語ろう～ひとまもり・まちまもり懇談会～』が開催されたが、若い世代の人も懇談会に参加しやすいように開催時間の配慮や住民同士が参加を呼び掛け合うなど、幅広い世代の人の参加を促す方法を検討していただきたい。

3 体制づくりと支援策の推進について

『ひとまもり・まちまもり自治区形成事業』は、住民の意見を吸い上げ、自治機能を高める上でもとても有効な取組みである。報道機関にも協力を依頼し、他の自治区の参考となるように成功事例を多く伝えることにより、自治区同士が形成意識を高め合えるような方向に進めていただきたい。

4 環境整備の推進について

『ひとまもり・まちまもり自治区形成事業』を通じて協働に対する住民の意識を高め、多様な組織・団体に構成されるひとまもり・まちまもり協議会の設立を推進するとともに、今後は市民と行政とのコーディネーター役となる中間支援組織の育成や活動拠点の整備に向けた取組みも進めていただきたい。

5 取組みの評価や見直しの推進について

『ひとまもり・まちまもり』の取組みについて、市民の認知度を高めるため、市報やホームページ、フェイスブック等、様々な手段を活用し、幅広い世代の人へその意義を周知するとともに、地域住民の参画意欲を向上させるための方法を検討していただきたい。